

HOYOG 教区新報

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
[編集] 兵庫教区広報部

発行所



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

2022. 2 213号

阪神淡路大震災から二十七年 ― 物故者総追悼法要 ― 1.17いのちを考える研修会 ―

一月十七日、本願寺神戸別院にて「阪神・淡路大震災 物故者総追悼法要」が勤められ、法要後に宗門関係学校の生徒による「いのち」をテーマとした作文朗読と「いのちを考える研修会」が開催された。昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的に法要参拝を奨励することができず、研修会も中止となったが、本年

は、感染症対策に併せ、法要の様子がYouTubeでライブ配信され、研修会は、事前に収録したご講師の講演動画を上映する形で開催された。併せて、研修会に参加したく、宗門関係学校の生徒

による作文朗読については、オンライン配信を行わず本堂に参集した方のみ聞くことができる形が取られた。

法要は、午後一時半より行事鐘が鳴り響く中始まり、例年通りとは行かないが、参拝席の間隔を空け約六〇名が参拝。

法要後の作文朗読は、松下あこさん(成徳学園神戸龍谷中学校)、小賀あずみさん(睦学園神戸国際中学校)、山口桜尋さん(成徳学園神戸龍谷高等学校)、具志ひなのさん(睦学園兵庫大学付属須磨ノ浦高等学校)の四名に朗読いただいた。

休憩をはさみ、午後二時五〇分からは、研修会として、作家・活動家である雨宮処凛氏の、『コロナ禍、困窮者支援で命を支える現場から』と題した講演動画が上映された。

およそ六〇分の講演動画の後、竹内俊之「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)兵庫教区委員会委員長の挨拶、恩徳讃で研修会が閉じられた。

(二面に関連記事)



親鸞さまのお流れを汲む浄土真宗の御門徒さまたちの中

に、「浄土真宗の作法と違ってお参りの作法」をされるお方がおられます。仏願の生起本末が理解されていないのでは？阿弥陀さまを聞き間違っておられるのでは？◆手を合わせてお参りするとき、どうしても願いや頼み心が出てしまうのは、手を合わせてお参りさせて頂いている如来さまは、私の体の外の如来さま、まだ私のところに来て下さっていない如来さまと受け取られているからではないでしょうか？◆この私一人を目当に、もうすでに届いて下さっている如来さま、南無阿弥陀佛のお相(すがた)で下さっている如来さまなので、元氣な時は私を護り、どうしても死んで逝かなければならない時、西方の極楽の浄土へ連れて行き、仏さまにして下さる如来さまなのです。お聴聞の難しさ、大切さを思うことです。

兵庫組 西願寺 佐々木大観

いのちを考える研修会 講演動画の配信期間延長

「177いのちを考える研修会」で上映した、雨宮氏の講演動画について、限定配信の期間が「二月十七日まで延長」となりました。

視聴希望の方は
1.17jissen@gmail.com
までメールにてお申込み
ください。
(申込期限：二月十日)

ご講師紹介

あまみやかりん
雨宮処凛氏

プロフィール

一九七五年、北海道生まれ。作家・活動家。フリー



雨宮氏対談の様子

ターなどを経て2000年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』(太田出版)／ちくま文庫)でデビュー。2006年からは貧困問題に取り組み、『生きさせろ! 難民化する若者たち』(2007年、太田出版)／ちくま文庫はJCI賞(日本ジャーナリスト会議)を受賞。著書に『女子』という呪い(集英社クリエティブ)、『非正規・単身・アラフォー女性』(光文社新書)、『ロスジェネのすべて 格差、貧困』(戦争論)、『あけび書房』、『相模原事件裁判傍聴記』(役に立ちたい)と『障害者ヘイト』のあいだ『太田出版』など多数。2020年以降のコロナ禍では、4月より「新型コロナ災害緊急アクション」メンバーとして生活困窮者の支援に取り組む。最新刊は『コロナ禍、貧困の記録 2020年、この国の底が抜けた』(かもがわ出版)

浄土真宗の教学相談 第12回

浄土真宗のみ教えに関して、さまざまなご質問をお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。この度の連載では、これまでお聞きした教学相談の中からいくつかのご質問を取り上げ、お聖教の言葉を依り所にしながら考えてみたいと思います。

どうして悪人が救われるのですか？



浄土真宗では悪人こそが阿彌陀仏の救いの対象であると説かれます。「善人なほもつて往生をとぐ、いはんや悪人をや」(『歎異抄』)と、仰せになったといわれる親鸞聖人のお言葉は特に有名です。しかし善人ではなくて、なぜ悪人なのでしょう。大切なことは、ここで言われている善人や悪人が、一体どのような意味を持つ言葉なのかということです。

普段、私たちの善悪の基準となっているのは、法律的な善悪観や道徳的な善悪観ではないのでしょうか。法律的な基準でいう悪とは、法律に触れるような行為をすることで、反対に法律に触れていない場合は善の立場となります。道徳的な基準では、たとえ法律を破っていないくても、道徳的には悪であったりすることもあるでしょう。また法律的・道徳的な善悪の基準は、時代や社会状況によっても影響されますし、変化するものだと考えられます。

一方で、法律的・道徳的な善悪観の他に、宗教的な善悪観があります。この善悪観は宗教に

よって勿論違いますし、時代や社会状況による影響がまったく無いとはいえませんが、その根幹は時代をつらぬいて伝えられてきたものです。さて、仏教が説く善というのは、煩惱という自己中心的なあり方を離れていく清らかな行いのことをいいます。反対に悪というのは煩惱のあり方を深めていく、自己中心的な行いのことを意味して

しました。この自己中心的なあり方から、少しも抜け出すことができない者をこそ「悪人」といわれた時、悪人とは、他の誰でもない私自身に向けられた言葉として迫ってきます。自己中心的な想念に支配され、日々、愛憎に振り回されながら生きているのが、まぎれもない私の姿だからです。それは縁に触れば、世間の法律や道徳すらも破っていく私の姿でもありました。煩惱という自分ではどうすることもできない重い病を抱え、自他ともに傷つけあって、煩惱の淵に沈みゆく者のために完成してくださったのが、阿彌陀仏の本願の救いでした。私のいの

ちの痛みを共にしてください、生きる意味と方向性を与えようとはたらいてくださっている、「南無(まかせよ)阿彌陀仏(われに)」の仰せは、まさに悪人である私に焦点があてられ、そがれていたものだったのです。

如来の仰せによって、自身の煩惱の姿が知らされることは、決して後ろ向きな話ではありません。そこに注意すべきものは何か、仰ぐべき真実は何かという、これまではなかった新たな意識が私のなかに立ち上がってくるからです。自身の姿を開き直って生きていくのではなく、わが身を省みながら、これからどんな歩みをしていくことができるのか、そのことを仏法という真実に尋ねながら生きていきたいと思います。

四年間、全十二回にわたって連載してきましたこのコーナーも、今回で最終回を迎えます。これまでお読みいただき、誠に有難うございました。

京都女子大学 相愛大学 非常勤講師
阪神西組 善教寺 副住職
赤井 智頭

パラスポーツを体験 —二年ぶりの報恩講子ども集い—

十二月十八日に、「震災支援報恩講子ども集い」(主催：兵庫教区少年連盟)が開催された。

本集いは、阪神・淡路大震災の発生した平成七年より、「子どもたちに微笑み」のスローガンのもと、被災された子どもを中心に支援活動がこりであり、今回で二十七回目となる。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、今年からは昼食の出店を取りやめ、午後からの半日開催とするなど出来る限りの対策



大矢氏を囲んで

を講じ、感染状況が比較的落ち着いた十二月に、二年ぶりの開催となった。

今回は、東京オリンピック、パラリンピックの開催をうけ、パラスポーツ体験や当事者(車いすユーザー)のお話を通して、「心豊かに成長して欲しい、誰に対しても優しく手を差し伸べることで出来るように育ってほしい」との願いのもと、「パラスポーツの可能性と魅力(学びと体験)」をテーマに開催。

特別ゲストに、東京パラリンピック陸上百メートル(車いす)銀メダリストの、大矢勇気(おおよゆうき)さんをお招きした。

当日は、パラスポーツの「ボッチャ」※①と「ゴールボール」※②を体験。初めての、パラスポーツに、子ども達は、楽しみながらも真剣に取り組んでいた。参加者の中には、「初めてパラスポーツを体験し

たけど、とても楽しかった。今まではオリンピックの中継しか見てなかったけど、これからはパラリンピックも見たい」と話す子も。

パラスポーツ体験の後には、ゲストの大矢氏より講演をいただいた。講演の中で大矢氏は、「人生の中で多くの困難に直面したが、困難はそれ乗り越えることの出来る人しかやってこないと思う。皆も困難なことがあっても決して諦めずに頑張ってほしい」と話された。

最後には、大矢氏の御厚意で、東京パラリンピックの銀メダルに触れる機会が設けられた。子ども達は、メダルの大きさとその重さ(約一キロ)に驚いた様子で、忘れることのない体験の一日となった。

※①白い目標球に、自分のチームのボールを近づけて得点を競う、ペタンクに似た球技

※②目隠ししたプレイヤーが、鈴入りの球を相手ゴールにシュートして得点を競う球技

「モダン寺 de ヨガ」開催中!

教区仏教青年会連盟(教区仏青)では、新型コロナウイルスにより、会員同士のコミュニケーションの機会が減る中、何か出来ることはないかと考え、オンラインを併用したヨガレッスン「モダン寺 de ヨガ」が企画された。

講師に、ヨガインストラクターのTAKACO先生をお迎えし、神戸別院を会場に、noonからのオンライン参加者と共に、現在、月一回のペースで連続開催されている。

第一回は、昨年十二月五日に開催。今年度新たに加入の仏青会員をはじめ

め、チラシを見て初めて神戸別院に来たという方の参加もあった。

当日は、コロナ対策として、互いの間隔を十分にとったうえで、約十名が別院より参加、noonからは、三名が参加し、自宅でヨガ体験を行った。

レッスンは、リラックとした雰囲気始まり、講師の柔軟な身体をお手本にしつつ、各々無理のない範囲で、凝り固まった身体をリフレッシュさせていた。

初めてヨガを経験する会員が大半であったが、コロナ禍で運動不足

モダン寺 de ヨガ

コロナで自粛の日々が続き、心も身体も疲れていませんか？
モダン寺でそんな心と身体をヨガを通してリフレッシュしませんか？
初めてでも大歓迎(^^)

- 日時** 2022年 2月12日(土) 3月12日(土)
- 時間** 全日16:30~17:30
- 場所** 神戸別院 3階総会所
※別院での参加が難しい場合は、オンライン(Zoom)にて参加できます。
- 参加費** 1,000円
- 持参品** ヨガマット(あれば)
- 服装** ヨガのしやすい服装
- 申込** 教区仏青担当までお電話ください
TEL:078-341-5949



講師 Takacoさん

になりがちなか中、激しい運動を伴わなくとも、少し汗ばむ程となるヨガのレッスンは、「初めてヨガを体験したが、楽しく運動ができた」と話す参加者も。

心と体をつなぎとめ、呼吸や姿勢を整えて心身の緊張をほぐし、心の安定とやすらぎを得ることが出来るヨガレッスン。人と人のつながりが減る中、ご縁づくりの機会ともなる本イベントについて、教区仏青では参加者を随時募集している。

ヨガレッスンについてのお問い合わせは、教区仏青担当まで。
TEL:078-341-5949

「寄り添う」を願いに — 自死者追悼法要 —

兵庫教区自死者追悼法要が二〇二三年二月十九日(土)午後一時三十分より修行される。

本法要は、「遺族が、仏さまの前で安心して大切な方とのつながりを感じられる」ことを願いに「寄り添う法要」として、参拝を「大切な方を自死で亡くされた方」のみに限定して勤められる。教区で追悼法要を修行することとなった経緯は、ビハラー兵庫にて、自死問題をテーマに研修を行ったことがきっかけである。その際、研修のご講師を派遣頂いた、「自死に

向きあう関西僧侶の会協力のもと、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の「教区独自の専門委員会」として、「兵庫教区自死者追悼法要実行委員会」が発足。

苦悩に寄り添い、悲しみを分かち合うことを目的に、自死者追悼法要を修行することを主な活動内容として、二〇二四年より継続して法要が勤められており、今回で九回目になる。法要の実行委員ならびにスタッフは、ビハラー兵庫の会員、及び委員会との目的に賛同する教区内の僧侶、門信徒で組織されている。一つの宗派で自死者追悼法要を継続的に行っている団体は珍しく、雅楽の調べ

とともに修行される法要であることも特徴である。本年は、新型コロナ拮抗大防止の観点より、法要後の茶話会は中止であるが、新たな試みとして、別院での参拝だけでなく、オンラインでの参拝(YouTube配信)にも取り組むこととなった。参拝を希望だが、コロナ禍で来院が叶わない方へ、少しでも寄り添うことが出来ればという思いから企画された。配信は、ライブバシーへの配慮として、次の形で行われる。●参拝者が映らない形で配信●法要でのお名前読み上げ時は無音●申込者限定のライブ配信(後にご覧いただけない形) 法要の実行委員会では、随時スタッフを募集している。スタッフは、法要を勤めるにあたっての注意点を心得などについて研修を受講いただいたうえで、法要に参画いただいている。 スタッフ参画希望の方のお問合せは、教務所の追悼法要担当まで。

自死者追悼法要

2022(令和4)年
2月19日(土)

午後1時30分より

場所:本願寺神戸別院(モダン寺)3階本堂
オンライン:YouTubeライブ配信(限定公開)

- 大切な人を自死で亡くされた方に限らせていただきます
- 浄土真宗による法要をお勤めしますが、参列される方の宗教は問いません
- 参加費無料です
- マスコミの取材はお断りしております

TEL:078-341-1594

フードバンク・子ども食堂 紹介ページ開設

この度、教区ホームページに「フードバンク」や「子ども食堂の紹介ページ」が開設された。

これは、組寺院個人で宗門重点プロジェクト実践目標「貧困の克服に向けて」Data for World Peace「子どもたちを育むために」へ取り組んでいただく際に、「どこに食材や寄付金等をお届けすれば良いのか?」という疑問にお応えするためのものである。

「親教」念仏者の生き方で、「私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らのとするなど、少しでも仏さまのお心にかなう生き方を目指し、精一杯努力させていだけたく人間になるのです」とお示しください。

そのお心をうけ、「御同朋の社会をめざす運動」では、具体的平和貢献策として、貧困の克服への取り組みを推進している。



世界では、地理的要因や気候変動、紛争状態、そして不平等な経済構造などから、十秒に一人の子どもが飢えるために亡くなっている。また、日本では、「相対的貧困」その国の文化生活水準と比較して困窮した状態であるかで評価した割合」が、先進国の中で五位という大変厳しい現状であり、七人に一人の子どもが、貧困状態にある。是非フードバンク子ども食堂紹介ページをご活用いただき、貧困問題への取り組みを推進いただきたい。



アクセス先
QRコード



1957年12月北野町に「六甲荘」として開業
おかげさまで本年2022年12月に開業65年を迎えます
「皆様とともに65年。そしてこれからも」

Romantic Kobe feel So nice
ホテル北野プラザ六甲荘
www.rokoso.com/



神戸市中央区北野町1-1-14 TEL: 078-241-2451 六甲荘は「ひょうご安心旅」「新型コロナウイルス対策認証店」として登録されています